

注 意 報

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、病害虫発生予察注意報第2号を発表したので送付します。

平成13年度病害虫発生予察注意報第2号

- 1 対象作物 冬春ナス
- 2 病害虫名 すすかび病
- 3 発生地域 県下全域
- 4 発生程度 多
- 5 注意報発表の根拠
 - (1) 11月5半旬調査の結果、発病葉率は平均5.5%（平年：0.2%、前年：2.0%）であり、一部のほ場では多発している。
 - (2) また、発生ほ場率は50%（平年：7.5%、前年40%）であり、過去10か年で最も高く、今後の拡大が予想される。
- 6 防除上注意すべき事項
 - (1) 病勢が進展してからでは防除が困難であるため、発病初期のうちに防除を徹底する。
 - (2) 本病は薬剤防除だけで病勢の進展を抑えるのは困難なので、換気を行い、多湿にならないよう管理する。ただし、急激な温度・湿度変化は避ける。
 - (3) 草勢の低下で発病が助長されるので、着果量の調節や、適切な肥培管理を行う。
 - (4) 発病葉はできるだけ除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
 - (5) 本病の分生胞子は、曇天・雨天時に形成され、晴天時に飛散するので、曇天・雨天後の晴天日に薬剤散布すると効果が高い。
 - (6) 本病原菌の各種薬剤に対する感受性低下を避けるため、同一系統薬剤を連続して使用せず、数系統の薬剤を組み込んだロ・テ・ション散布を行う。